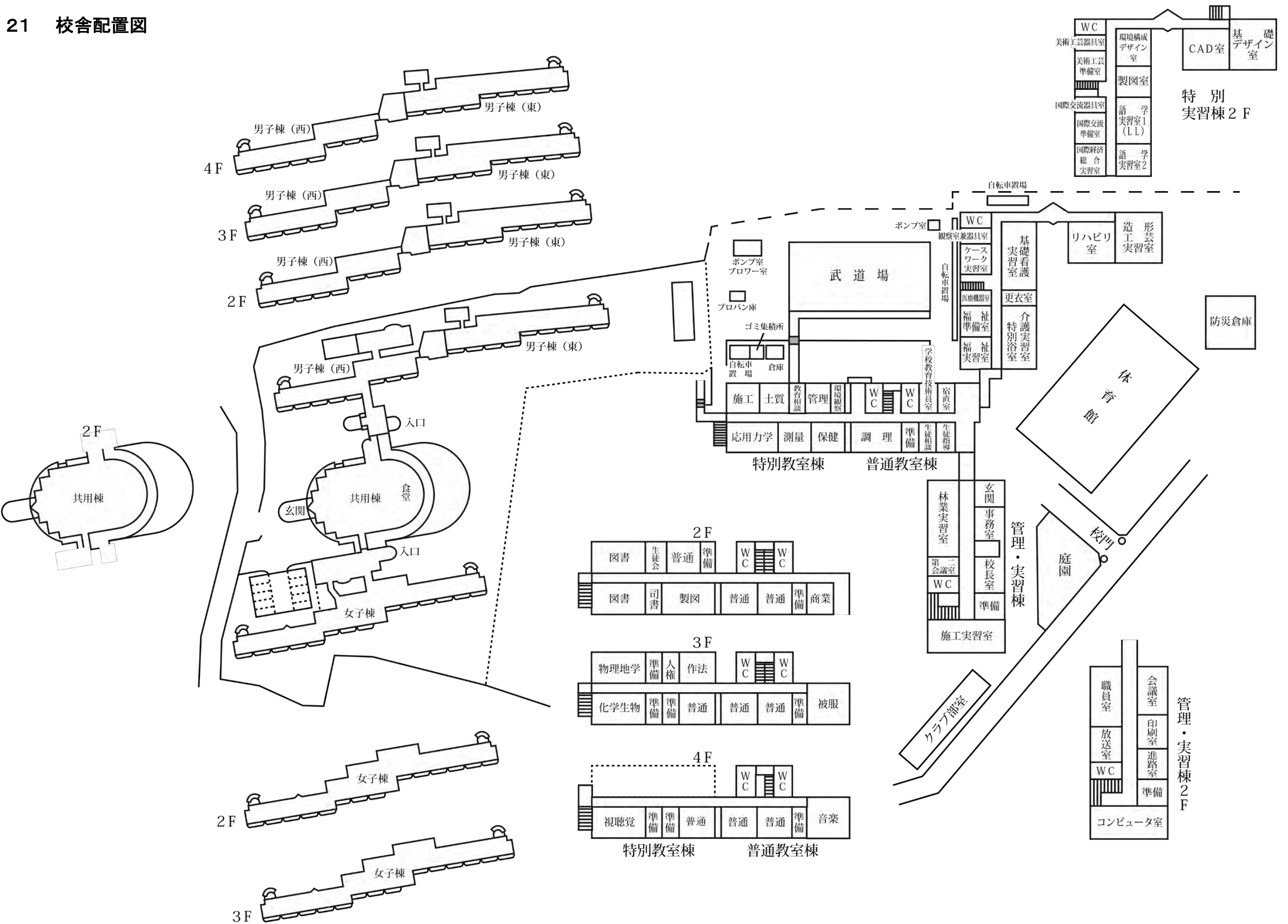


21 校舎配置図



3 昴学園高校の特色

昴学園高等学校は、日本一の清流「宮川」と星空の町「大台町」（ユネスコエコパークに登録）の豊かな自然に囲まれた「三重県立（公立）」・「全寮制」・「総合学科」・「全日制」の高等学校です。三重県内全域及び県外から生徒が集まり、特色ある5つの系列（国際交流・総合スポーツ・美術工芸・生活福祉・環境技術）で学んでいます。また、生徒寮「きらら」では、集団生活の中で、自主・自立の精神、お互いを思いやる心を学びます。

※大台町・大紀町・多気町の生徒は自宅通学可能です。

（1）個性が輝く「総合学科」

総合学科とは、「自分探し」をするとともに生涯にわたって「**学ぶ力（学び続ける力）**」を身に付けることを目的として、自己の生き方や進路への考えを深める学習を行うことを特長としています。普通科や専門学科で学ぶ内容を生徒が自分の興味関心や希望進路に合わせて自ら選択して柔軟に学ぶことができる学科です。そのため、授業には普通科目に加えて様々な分野にわたる選択科目が開設されており、校内外での体験的な学習も充実しています。

1年次は必修科目を中心に学び、2年次以降は5つの系列の多様な科目群から各自の興味や進路希望に合わせた科目を選択し、自分だけの時間割で学習します。また、1年次には総合学科ならではの「**産業社会と人間**」という授業、2年次以降は「**総合的な探究の時間**」等で、自分の興味・関心や適性に応じた進路を見つける学習を行うなど、将来に向けたライフプランを作成します。その他、「ハングル」、「人権と平和」等の学校独自の自由選択科目もあります。

本校には次の5つの系列があります。

① 国際交流系列（仮称：地域探究系列）

データサイエンス等の学びを活かし大台町についての探究活動を深める中で、実践的な力を身に着けた次世代の担い手となることを目指します。

② 総合スポーツ系列

様々なスポーツや野外活動の知識と技術を習得し、自己の健康や体力の向上を図るとともに、スポーツへの親しみ方を身につけ、体育系の大学や専門学校への進学をめざします。

③ 美術工芸系列

美術（絵画・彫刻など）・デザイン（ビジュアルデザイン・情報メディアデザインなど）・工芸の専門科目を設け、造形の基礎から学び、専門的な技術を習得していくとともに、自分自身の表現を発見していくことをめざします。

④ 生活福祉系列

高齢者の介護や福祉に関する知識・技術を学び、それらを生かして福祉・医療関係への進学や就職をめざします。

⑤ 環境技術系列

宮川水系の源流地域に位置する特性を利用して、農業作物の育成や環境保全の手法を学びます。在学中に危険物取扱・建設機械等の資格取得にチャレンジし、地域の発展に関心を持ち、貢献する人材の育成をめざします。

(2) 全寮制

原則として生徒全員が入寮し、1・2年生は2人部屋、3年生は個室で、冷暖房完備の**生徒寮「きらら」**で生活します。公立の全寮制高校は国内でもほとんど例がありません。

県内各地から集まった同世代の若者が集団生活を行うことで、自主性・自律性・協調性などを育みながら個性と能力の伸長を図っています。また、豊かな自然とあたたかな地域、充実した施設設備、安心・安全の環境、規則正しい生活リズムの中で、生徒は勉強や部活動に励んでいます。**※自立＝自分だけで物事を行う、自律＝自分をコントロールする**

○寮費(R6年度)：558,000円/年(朝・昼・夕食代、光熱水費等)

半期(5,10月)払い279,000円または月(12か月)払い46,500円

物価対応のため、R7年度より月額5,000～10,000円程度の値上げを予定しています

(3) 全員前期選抜入学生抜入試

各人の希望する系列に応じて、**100%前期選抜**で入学者を募集しています。面接と作文を実施しています。

(4) 単位制

文部科学省の指定する高校の必修修科目に加えて、自由に科目を選択し、高校を卒業するために必要な最低単位(**74単位**)を修得すれば卒業することができます。多くの選択科目が開設され、自己の能力・適性・進路希望等に応じた科目を選択することができます。

(5) 少人数教育

1科目原則4名から授業を開設しています。1年生の必修修科目の数学、英語は習熟度別学習を行っています。生徒一人ひとりに分かりやすく、納得できる授業を目標にしています。

(6) 90分授業

実習授業や校外授業、体験学習の効果を上げるために**90分授業**を実施しています。

(7) 情報教育

生徒用コンピュータは、情報系42台、語学系12台、CG系16台を設置し、インターネットには専用回線で接続しています。1年次には全生徒に情報教育を行っており、2年次からは各系列の学習において効果的にコンピュータを活用しています。また、休み時間・放課後にはコンピュータ室を解放し、生徒のレポート作成や調べ学習などに活用されています。令和4年度入学生より、校舎と寮の全域に生徒の1人1台端末用のネットワーク環境(Wi-Fi)が整備されました。

■生徒の1人1台端末の購入について《三重県教育委員会より》

文部科学省では、生徒の1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する「GIGA（「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「すべての児童・生徒にグローバルで革新的な扉を」という意味）スクール構想」を推進しており、三重県内の小中学校では、令和3年度から1人1台端末を活用した授業が始まっています。

高校においても、令和4年度から学習指導要領が新しくなり、ICT（情報通信技術、Information and Communication Technology）を活用した学習活動を充実させることが示されています。そのため、令和4年度以降の入学生から、保護者のご負担で学習端末を購入していただき、学習活動を進めていくこととしました。

今後は、授業において、一人ひとりの特性や到達度に応じた「個別最適な学び」や、多様な意見を共有し合意形成していく「協働的な学び」を効果的に進めるとともに、家庭において、学校からオンラインで配信される教材や動画による学習等を行うことにより、学校と家庭での学習が切れ目なくつながる新たな学びを推進していきます。

保護者の皆さまには、ご負担をおかけすることになりますが、1人1台端末を活用した学習活動の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

三重県立高等学校入学時に学習端末（高校では、Chrome OSを搭載したノートパソコン（Chromebook：クロムブック）の活用を基本と考えています。）の購入をお願いします。

※ BYODとは「Bring Your Own Device」の略称で、従業員が個人で所有しているパソコン・タブレット・スマートフォンなどを業務上でも使用することを言います。

（8）国際教育

韓国の養正（ヤンジョン）高校と姉妹校提携を結び、毎年短期交換留学を実施しています。また、ハングルを自由選択科目＜1～3年次共通＞として用意しています。

※令和6年度より再開、8月には本校生徒が4泊5日で訪韓、11月には養正生徒が訪日します。

（9）地域との連携

大台町（ユネスコエコパークに認定）と連携して教育活動を行っています。数多くある町の行事への参加、ボランティア活動、インターンシップ、文化・スポーツ活動、総合的な探究の時間での活動、保育園・小学校・中学校との相互協力、本校への町の援助などを通じて、地域とともにある開かれた学校づくりを進めています。

三重県立鼎学園高等学校校歌

星たちよ

作詞 中西 遥
作曲 寺嶋 陸也

あおく静かな清流に
こだまする樹々のさざめき
悠々と生命の鼓動
天に奏でる星たちよ

宇宙の教えに守られて
胸に秘める未知の輝き
まなぎしに至誠の光
希望に燃える星たちよ

時空を超える星の光
果てしなく伸びやかに
銀河を翔け巡る

星から星へ生まれ継がれた
閃き嘆き

優しさ強さを思いやる時
新たなる勇気が漲る

今は遥かな故郷に
愛おしむ変わらぬ笑顔
未来へと理想の煌き
心を繋ぐ星たちよ

4 設置学科と生徒定員

(1) 総合学科

- ① 国際交流系列（仮称：地域探究） ② 総合スポーツ系列
③ 美術工芸系列 ④ 生活福祉系列 ⑤ 環境技術系列

(2) 生徒定員

学 年	1 学 年	2 学 年	3 学 年	計
定 員	8 0	8 0	8 0	2 4 0

5 校 時

1. 平常授業(90分授業)

月・火・木・金曜 校時				
予鈴	8:20			
朝の読書・朝学	8:30	～	8:40	
SHR	8:40	～	8:50	
掃除	8:50	～	9:00	
1限目	9:10	～	10:40	
2限目	10:50	～	12:20	
予鈴	13:00			
3限目	13:05	～	14:35	
4限目	14:45	～	16:15	

水曜 校時				
予鈴	8:20			
SHR	8:30	～	8:40	
1限目	8:50	～	10:20	
2限目	10:30	～	12:00	
予鈴	12:40			
3限目	12:45	～	14:15	
LHR	14:25	～	15:15	

2. 60分授業

月・火・木・金曜 校時				
予鈴	8:20			
SHR	8:30	～	8:40	
掃除	8:40	～	8:50	
1限目	9:00	～	10:00	
2限目	10:10	～	11:10	
3限目	11:20	～	12:20	
予鈴	13:00			
4限目	13:05	～	14:05	

水曜 校時				
予鈴	8:20			
SHR	8:30	～	8:40	
1限目	8:50	～	9:50	
2限目	10:00	～	11:00	
3限目	11:10	～	12:10	
予鈴	12:50			
LHR	12:55	～	13:45	

3. 定期考査(50分)

予鈴	8:20			
SHR	8:30	～	8:40	
1限目	8:50	～	9:40	
2限目	9:55	～	10:45	
3限目	11:00	～	11:50	
最終日は考査終了後、SHR10分間				

6 学科と系列の概要

○総合学科

5 系列ある専門分野の中から、自分の適性や将来の進路に応じて系列を選択して専門の知識・技術を身につけることができ、また大学や、専門学校への進学、就職等、どのような希望進路に対しても十分対応できるようになっています。

国際交流系列（仮称：地域探究系列）

【令和7年度入学生（予定）】

系列内に設置されている「大台探究」では大台町を舞台に探究活動を行います。大台町でのフィールドワーク、地域で活躍される方の講演などを通して大台町の魅力を知り、課題を探究し、活性化につながる取り組みを実践します。

系列内の授業では、データサイエンス、英語コミュニケーションなどの授業を設置し、様々な観点から探究活動を行えるようサポートします。これらの活動を行う中で課題解決力・協調性・プレゼン力を養い、次世代の担い手を育成することを目指します。

系列の授業科目（令和7年度）

【2年次生】 大台探究，数学B，化学基礎，論理・表現Ⅰ

【3年次生】 大台探究，データサイエンス，古典探究，英語コミュニケーションⅡ

進路目標

私立の四年制大学や短期大学への進学

総合スポーツ系列

現代、自己の健康や体力の向上を図るために生涯スポーツが盛んになっている。総合スポーツ系列では、競技スポーツや体育理論、トレーニング理論を通して、様々なスポーツの技術や知識を身に付けるだけでなく、野外で行うレクリエーションスポーツやニュースポーツを行い、自ら興味を持って、進んでスポーツに関わり、楽しむことと、そのスポーツを指導していただける資質や能力を養うことを目標に学習を進めている。将来、スポーツの指導者として、地域スポーツや生涯スポーツの発展に貢献していける知識と技術の習得や態度を学ぶことを目標としている。

系列の授業科目（令和6年度）

<2年次>スポーツⅠ、スポーツⅡ、ニュースポーツ、スポーツⅤ

<3年次>スポーツⅠ、スポーツⅡ、ニュースポーツ、スポーツⅤ、スポーツ総合演習

進路目標

体育系大学・専門学校への進学、レクリエーションスポーツ指導者、社会体育指導者、トレーナー、体育教員

環境技術系列

農業の野菜栽培や草花管理、木材加工、森林の特徴や管理方法に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、農業の社会的な意義や役割について理解する。また農業に関する諸課題を主体的、合理的に、課題を探究し、持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を身に付ける。

以上の内容を座学・校内外実習等で学ぶ一方、各種資格取得にも力を入れている。

系列の授業科目（令和6年度）

<2年次>総合実習、地域資源活用、野菜、林産物利用

<3年次>総合実習、野菜、課題研究、林産物利用、農業と情報

進路目標

身につけた知識・技能をより一層深め、高めるため進学。地域の発展に貢献する実践者として、農業従事者、関係者の育成を目指す。

美術工芸系列

美術工芸系列では、絵画、彫刻、デザイン、コンピュータの各分野に関わる専門科目を設け、それらの科目の履修をとおして造形の基礎から学び、専門的な技術を修得していくとともに、自分自身の表現（方法・スタイル）を発見していくことを目標としている。

授業の基本的なスタイルとしては、一つの単位としてまず課題が提示され、生徒自身がそれについて考察し、考えをまとめつつ作品を制作し、仕上げていく。最後に教員や生徒相互による講評をして、まとめとする流れになっている。

この系列での学習をとおして、「モノづくり」の分野でのさらなる研鑽の場を志望し、実現していく生徒も数多くいる。

系列の授業科目（令和6年度）

<2年次>素描、絵画、彫刻、ビジュアルデザイン、情報メディアデザイン

<3年次>構成、造形デザイン、造形美術

進路目標

美術、デザイン系大学・短大、あるいは美術、デザイン系学部への進学

アート・デザイン系、ファッション系、美容・理容系専門学校への進学

生活福祉系列

生活福祉系列では、適切な介護が行えるように、社会福祉全般において幅広く学習をすすめていく。技術と人を尊ぶ福祉の心を養い、福祉系上級学校への進学、福祉施設への就職をめざす。

そのために、多くの実習体験（老人ホーム等での介護実習、障がい者施設訪問、訪問介護実習など）をしながら学習をすすめていく。

系列の授業科目（令和6年度）

<2年次>社会福祉基礎、生活支援技術、介護福祉基礎、こころとからだの理解

<3年次>社会福祉基礎、生活支援技術、介護福祉基礎、課題研究（家）、手話

<2・3年次生共通>年間4日～7日間の介護実習

<内容> 福祉の理念、歴史、制度、人体の構造・働き、介護に必要とされる食物・被服、住居に関する知識、介護の理念と技術等について学ぶ。

進路目標

福祉施設等の介護職、福祉・医療系上級学校への進学

令和7年度入学生教育課程表(予定)

三重県立昂学園高等学校(全)

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	系列	特別活動	30	31
R7	現代の国語		言語文化		地理総合		公共		数学Ⅰ				科学と人間生活		体育		保健	音楽Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ			家庭基礎		情報Ⅰ		産業社会と人間			LHR	1・2・3年 共通選択		
1年次																		美術Ⅰ													ハングル(学)		
																		工芸Ⅰ															
																		書道Ⅰ															
高等学校必修科目																																	
年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	系列	特別活動		
R8	歴史総合		生物基礎		体育		保健		総合的な探究の時間				文学国語		数学A		英語総合実践(学)	大台探究		古典探究		数学B		化学基礎		論理・表現Ⅰ		選択科目		国際交流		LHR	
2年次																		スポーツⅠ		スポーツⅡ		スポーツⅤ		ニュー スポーツ(学)		ビジネス 基礎							
																		素描		絵画		彫刻		ビジュアル デザイン		情報メディア デザイン							
																		社会福祉基礎		介護福祉基礎		生活支援技術		こころとからだ の理解		ビジネス 基礎							
																		総合実習				野菜		林産物利用		地域資源活用							
高等学校必修科目																		学校必修科目									A						B
年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	系列	特別活動		
R9	体育		総合的な 探究の時間		文学国語		日本史探究				数学研究(学)		英語総合 実践(学)		大台探究		古典探究		データサイエンス (学)		化学基礎		英語コミュニケーションⅡ		選択科目		国際交流		LHR				
3年次															スポーツⅠ		スポーツⅡ		スポーツⅤ		スポーツ栄養学(学)		ニュー スポーツ(学)		ビジネス技術 または 課題研究								
															美術概論		構成		造形デザイン(学)			造形美術(学)											
															課題研究(家)		社会福祉基礎		介護福祉基礎		生活支援技術		手話(学)		ビジネス技術 または 課題研究								
															課題研究(農)				総合実習		農業と情報		野菜		林産物利用								
高等学校必修科目															学校必修科目										A						B		

18 令和3年度 進路先一覧(25期生)

1. 卒業者数

総合学科		
	男	女
	41	17
計	58	

2. 進路内訳

進学	4年制大学	10
	短期大学	1
	専門学校・各種学校	19
	男	18
	女	12
	計	30
就職	一般企業	22
	公務員	2
	自己開拓	4
	男	23
	女	5
	計	28

卒業者計 58

4. 就職内定内訳

企業名	R4
エイベックス 株式会社	2
大内山酪農農業協同組合	1
株式会社 すし処 君家	1
株式会社エクセディ 上野事業所	1
株式会社 パーソナック	1
株式会社 佐藤製作所	1
株式会社 富士製作所 伊賀工場	1
三重日産自動車株式会社	1
フジパン株式会社 豊明工場	2
ニプロファーマ株式会社 伊勢工場	2
株式会社 日新 三重工場	1
山崎製パン株式会社	1
社会福祉法人 あけあい会	1
ベストパートナー株式会社	1
社会福祉法人 大台町社会福祉協議会	1
日本梱包運輸倉庫 株式会社	1
株式会社 ライジング 明和工場	1
株式会社 エクセディ物流 上野事業所	1
株式会社 ミートサプライ	1
自衛官候補生	2
自己開拓	4

県内就職	25
県外就職	3

5. 進学先内訳

私立大学

大学名	学部	R4
皇學館大学	現代社会	1
	文学	1
鈴鹿医療科学大学	看護	1
	保健衛生	2
関西外国語大学	英語国際	1
名城大学	経済	1
人間環境大学	環境科学	1
大阪商業大学	経済	1
東京基督教大学	神	1
合 計		10

私立短期大学

短期大学名	学 科	R4
高田短期大学	子ども	1
合 計		1

専門学校等

専門学校名	R4
名張市立看護専門学校	1
名古屋ユマニテク歯科衛生専門学校	1
ユマニテク医療福祉大学校	1
ユマニテク調理製菓専門学校	1
伊勢調理専門学校	1
名古屋辻調理専門学校	1
辻製菓専門学校	1
伊勢理容美容専門学校	1
旭美容専門学校	1
ヴェルルージュ美容専門学校	1
ミスパリエステティック専門学校大阪校	1
山野美容専門学校	1
津高等技術学校	1
富山市ガラス造形研究所	1
名古屋デザイナー学院	1
京都芸術デザイン専門学校	1
名古屋情報メディア専門学校	1
OCA大阪デザイン&ITテクノロジー専門学校	1
岐阜県立森林文化アカデミー	1
合 計	19

1. 卒業予定者数

総合学科		
	男	女
	38	9
計	47	

2. 進路内訳

進学	4年制大学	8
	短期大学	5
	専門学校・各種学校	13
	進学準備	1
	男	20
	女	7
	計	27
就職	一般企業	19
	自己開拓	1
	男	18
	女	2
	計	20

4. 就職内定内訳

企業名	R4
トヨタ車体株式会社	2
社会福祉法人 あけあい会	1
株式会社 中勢ゴム	1
株式会社 ミートサプライ	1
東海部品工業株式会社	1
株式会社 富士製作所	1
フジパン 株式会社 豊明工場	2
株式会社 日新化成製作所 多気工場	1
イセゴム工業株式会社 大台工場	2
ニプロファーム株式会社 伊勢工場	1
東プレ東海株式会社	1
株式会社 サカイ引越センター 津支社	1
株式会社 ライジング 明和工場	1
株式会社 NAKAGAWA	1
自己開拓	3
県内就職	18
県外就職	2
製造	16
接客	2
建設	1
介護	1

5. 進学先内訳

私立大学

大学名	学部	R4
日本福祉大学	スポーツ科学	1
東海学園大学	スポーツ健康科学	1
愛知東邦大学	人間健康	1
岐阜協立大学	経営	1
京都精華大学	デザイン	1
帝塚山大学	文学	1
梅花女子大学	心理	1
近畿大学	農学部	1
合 計		8

公立短期大学

短期大学名	学 科	R4
三重短期大学	生活科学科 生心	1
	生活科学科 居環	1
	法経2部	1
合 計		3

私立短期大学

短期大学名	学 科	R4
高田短期大学	キャリア育成	1
	子ども	1
合 計		2

専門学校等

専門学校名	R4
三重調理専門学校	3
日本デザイナー芸術学院	1
愛知造形デザイン専門学校	1
伊勢理美容専門学校	1
三重農業大学校	1
名古屋ビジュアルアーツ専門学校	1
愛知ペット専門学校	1
ミス・パリ・ビューティ専門学校	1
名古屋歯科医療専門学校	1
文化服装学院	1
鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校	1
合 計	13

18 【進路状況 令和5年度 進路先一覧】

三重県立昇学園高等学校

1. 卒業者数

総合学科		
	男	女
	32	13
計	45	

2. 進路内訳

進学	4年制大学	10
	短期大学	2
	専門学校・各種学校	13
	男	16
	女	8
	計	24
就職	一般企業	19
	自己開拓	1
	男	15
	女	5
	計	20

2. 求人数

求人数	令和3年度	令和4年度	令和5年度
県内	192	212	256
県外	151	232	263
計	343	444	519

4. 就職内定内訳

企業名	
トヨタ車体株式会社	2
イセゴム工業株式会社 大台工場	4
株式会社 ライジング 明和工場	2
トーエテクノ株式会社	2
社会福祉法人 あけあい会	2
奥伊勢フォレストピア宮川山荘	1
株式会社サカイ引越センター 津支社	2
エネクスフリート 株式会社	1
株式会社尾鷲物産おさかな市場おとと	1
三甲株式会社 レジャー事業統括部	1
オカダコーポレーション株式会社	1
自己開拓	1
合 計	20
県内就職	17
県外就職	3

5. 進学先内訳

国立大学

大学名	学部	
(国立) 奈良女子大学	理	1

私立大学

大学名	学部	
名城大学	経済	1
皇學館大学	文学	1
桜美林大学	教育探求科学群	1
大阪学院大学	経営	1
日本福祉大学	スポーツ科	1
名古屋学院大学	経済	1
京都芸術大学	映画学科	1
デジタルハリウッド大学	デジタルコミュニケーション	1
愛知産業大学	経済	1
合 計		9

私立短期大学

短期大学名	学科	
ユマニテク短期大学	幼児保育	1
中日本自動車短期大学	自動車	1
合 計		2

専門学校

専門学校名	
名張市立看護専門学校	1
伊勢志摩リハビリテーション専門学校	1
伊勢保健衛生専門学校	1
神奈川社会福祉専門学校	1
KAFOKAWA ドワンゴ情報工科学院	1
名古屋デザイナー学院	1
名古屋こども専門学校	1
ヴェールルージュ美容専門学校	1
京都府立京都林業大学校	1
三重調理専門学校	1
ユマニテク医療福祉大学校	1
大阪電子専門学校	1
名古屋未来工科専門学校	1
合 計	13

7 昴学園高校での学習、評価、卒業について

①「履修（りしゅう）」と「修得（しゅうとく）」

科目の授業に参加して、内容を学習したことが認められたとき、それを「履修」と表現します。また、その授業での学習成果が一定以上の水準に達した場合には「修得」と表現します。

これを評定（成績）におきかえると、「履修＝評定1」、「修得＝評定2以上」です。

単位制高校の本校では、学年末の成績において、科目で評定2以上の成績を修めたとき、「単位を修得した」という表現になります。一方、評定1であった場合は「単位を履修した」ことにはなりませんが、修得したことにはなりません。

②卒業に必要な単位（たんい）について

高等学校が、義務教育と大きく異なるのは、74単位の単位を修得（評定2以上）しなければ卒業が認められないことです。

本校の生徒は1年間で29単位、1～3年次で計87単位（『ハングル』を選択する場合は計89単位）の科目授業をうけます。このうち、学習指導要領に定められている「必履修科目」を履修したうえで、74単位以上の単位を修得することが、卒業認定のために必要になります。

③単位と授業（科目）の考え方について

本校においては、基本的に「2単位」の科目には、週1回の90分授業があります。また「4単位」の科目には90分授業が週2回あります。例えば、1年次にある『現代の国語』『公共』『科学と人間生活』などは「2単位」の科目、『数学Ⅰ』『英語コミュニケーションⅠ』などは「4単位」の科目です。教育課程に基づいて科目ごとに単位は認定されるため、「公共を1単位」「数学Ⅰを3単位」といった履修や修得はありません。

④評定（成績）について

学習指導要領では、各教科における学習状況の評価の観点について、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されています。評定（成績）は、授業の学習状況について評価の観点に基づいて、総合的に評価した結果となります。

本校では、学期ごとに各科目の評定（成績）を5段階で表して通知しますが、履修（評定1）または修得（評定2～5）を最終的に認定するのは、学年末です。

評定は、高校卒業後の進路決定にも関わってきます。例えば、大学等の指定校推薦に「評定平均（高校3年間の全科目評定の平均）3.5以上」といった条件が示される等です。また、就職や入学試験に志願するときに提出する調査書には、3年間の学習状況として各科目の評定が記載されます。

8 昂学園高校 生徒寮きさら 寮生活について

①寮生活の前提

本校では、寮生の生活について舎監（教職員）が全体を指導しています。160名ほどの寮生の生活を、舎監6名（男性3名、女性3名）が毎日4名ずつ宿直をして、寮全体を指導しています。舎監1人あたり、40名の寮生を担当することになります。したがって、舎監の指導方針は、寮生の自立した生活の指導です。（たとえば、医療や介助、それに準ずる支援などには対応できません）

本校が示す「求める生徒像」には、『寮・学校において協調性をもち、規律正しい集団生活をしていける生徒』とあります。他人と生活を送るうえでのルールやマナー、エチケットを守れること、規則正しい生活習慣を身につけられることなど、集団生活には何より協調性が重要です。

1・2年生は2人部屋、3年生は1人部屋で生活をします。人間関係を育むうえでも、同部屋の2人がお互いを尊重しながら生活することを意図しています。原則として、年度途中での部屋変更は行いません。

なお、寮での生活は、寮生全員の安全・安心な生活環境を守る必要があります。火気の厳禁、ケガや事故につながる行為の禁止など、当然の規則があります。危険行為、生徒指導事案、寮生活に適應できない場合等には、期間退寮という処分も行います。寮費の支払いが6か月以上滞納され、退寮勧告を受けた場合は、速やかに退寮していただきます。

②寮の施設について

築30年を経過した建物は、歴代の寮生が暮らし、次の寮生のために明け渡していくなかで、必要に応じた修繕をしながら使い続けています。談話室や洗濯室などの共用部分だけでなく、部屋を含めたすべての施設は、また他の誰かが使うものと考えてください。たとえば鍵を紛失したり、寮のガラスを割ってしまったりした場合は、その修繕費の弁償を求めます。

学期中は、生徒が登校している間、寮務員や技術員が寮内のメンテナンスを行います。洗濯機が故障したり網戸が外れたりした場合は、寮生から寮事務室への報告をうけて対応をします。

③保護者にお迎えをお願いするとき

体調不良の場合、平日であれば学校の保健室へ登校して様子をみますが、回復が見込めない時や、感染症に罹患した時は、原則として保護者のお迎えをお願いしています。また、心の不調と思われる状態（精神的な不安、ホームシック）がみられた時に、寮生活を送ることが難しいと判断する場合があります。身体的な不調だけでなく、心の健康についても、不調があるときは帰宅し、療養したうえで、寮生活を送れる状態に回復してから帰寮して頂くようお願いしています。

1 昴学園高等学校生徒寮きらら寮生活心得

1. 一人ひとりが自覚と責任をもって行動しよう。
2. 時間を守ろう。
3. 物をきれいに、大切にしよう。整理・整頓・掃除
4. あいさつ、言葉遣いをきちんとしよう。
5. 仲良く寮生活を送ろう。

2 寮日課表

	月～金	週末(土・日)休日
起 床	7:00	7:00
朝 食	7:00～8:00	8:00～9:00
登 校	8:20	—
昼 食	12:20～13:05	12:20～13:05
夕 食	17:30～19:30	18:00～19:30
入 浴	16:30～20:20	16:30～20:20
学習タイム	20:35～21:00 ※金曜日は行わない。	—
点 呼	21:00～21:15	20:30～20:40
清 掃	21:15～21:35	20:40～21:00
消 灯	23:00	23:00

【留意点】

- 1) 門限は 19:30 です。
- 2) 学習タイム・点呼 (20:30 ～) は食堂で全員集合して行います。
- 3) 清掃は割り当てられた場所を全員で行います。
- 4) 消灯時刻 (23:00) は厳守し、以降トイレ利用・洗濯以外は部屋の外に出ないこと。

※守られない場合 (消灯後の部屋移動や騒音等)、就寝時間帯の秩序維持のため、必要な指導を行います。違反が繰り返される場合は、期間退寮も含めた厳しい指導を行うことがあります。

令和6年度 きらら寮について

1 寮生活を通じた寮教育の意義

- ・生徒の生活的・精神的な自立、主体性・自主性・協調性・コミュニケーション力・自己表現力の伸張、忍耐力の育成などを育成する。
- ・他者との良好な人間関係を築く。

2 生徒寮きらら 基本情報

(1) 収容生徒人数

- ・男子棟 150人、一人部屋50室(50人)、二人部屋50室(100人)
- ・女子棟 90人、一人部屋30室(30人)、二人部屋30室(60人)

(2) 在籍寮生 144名

	1年	2年	3年	合計
男子棟	45	36	28	109
女子棟	16	19	14	49
合計	61	55	42	158

(3) 寮食堂

- ・食堂専門業者「魚国」が運営。朝:330円、昼:440円、夕:550円。

(4) 寮費

- ・入寮費 30,000円(入寮時のみ)
- ・寮費 年額558,000円(月割額46,500円、半年割額279,000円)
- ・退学・休学の場合、翌月以降は、寮費月割り額を徴収しない。
- ・長期臨時閉寮等、校長が認める特別な理由以外は寮費の返金を行わない。

(5) 職員

舎監長1、舎監(臨任講師)6、寮務員2、非常勤日直職員1
魚国職員、

(6) 生徒役員

- ・男子寮長:3年 ○○ ○○、副寮長:2年 ○○ ○○
- ・女子寮長:3年 ○○ ○○、副寮長:3年 ○○ ○○

3 寮生活の日課

(1) 生徒の登校時間(寮を出る時間)

- ・8:00~8:30

※登校後、舎監等で各室見回る…施錠・ブレーカー等のチェックを行う。

(2) 生徒の朝食、点呼・清掃・消灯について

	月～金	土日祝日等
朝食	7:00～8 :00	8:00～ 9:00
学習タイム・点呼	20:35～21:00 ※学習タイムがない日（点呼 20:30～20:45）	20:30～20:40
清掃	点呼終了後、20 分程度	
消灯	23:00 ※23:00 から舎監等で各室の見回りと機械警備のセット等を行う。	

※定期テスト期間等は、延灯（24：00）とする。

(3) 生徒の夕食及び入浴について

- ・入浴 16:30～20:20
- ・夕食 17:30～19:30（土日・休日は 18:00～19:30）

4 門限・消灯・休日

(1) 門限（19:30）

平日・休日問わず、19：30 までに帰寮し、寮の建物から出ない。

ただし、保護者や部活動等の顧問同伴の場合は時間を延長する場合がある。その場合は寮事務室に保護者や部活動等の顧問から事前に連絡をすること。門限を破った場合は寮での指導対象となる。

(2) 消灯（23：00）

消灯時間以後はトイレ、洗濯以外で自室を出ないこと。違反の場合は寮での指導対象となる。

(3) 土日祝日等の休日について

- ・届け出のうえ帰宅可とする。ただし、寮費の返金是不行ない。
- ・閉寮ではない休日は、寮食堂を稼働する。休日の食費は、寮費に含まれる。

5 主要年間行事（予定）

- 4 月 : 新歓パーティー（令和 6 年 4 月 18 日（木））
- 7 月 : 七夕パーティー
- 10 月 : ハロウィンパーティー
- 12 月 : クリスマスパーティー
- 1 月 : 退寮パーティー

3 昴学園高等学校生徒寮きさら寮則（2024 年度）

第1章 総 則

第1条 本寄宿舎は、三重県立昴学園高等学校生徒寮きさらという。

第2条 寮生は、舎監の指導の下にこのきさら寮則を守り、自主的な生活を営むものとする。

第2章 入退寮

第3条 生徒の入寮の際は、入寮申込書・入寮に係る誓約書（様式1）を校長に提出し、許可を受けなければならない。

2 校長が認める特別な事由により自宅通学を希望する生徒は、保護者連署を以て自宅通学許可申請書（様式2）を校長に提出し、許可を受けなければならない。

第4条 寮生は、次の事項に該当する場合、退寮または一時的な期間退寮（2日以上）を命ぜられることがある。

一 感染症に感染

二 寮諸費の滞納

三 寮生として、風紀、秩序を著しく乱す行為

第3章 役員及び委員

第5条 寮生活が円満かつ自主的に運営されるため、次の役員を選出するとともに委員会を設置することができる。なお、役員、委員の選出は寮生の互選によるものとする。

一 寮長 2名（男女各1名）

二 副寮長 2名（男女各1名）

三 フロアーリーダー 21名（男女各階各学年1名）

四 各委員会

(1)「うらら」 12名（男女各学年各 2名）

(2) 環境美化 25名（男女各学年各 3名）

(3) 広報・図書 12名（男女各学年各 2名）

(4) 施設管理 12名（男女各学年各 2名）

第4章 生活

第6条 日課表は、寮生日課表に規定する。

第7条 登校時間後、昼食時の食堂利用を除いて、学校生活の時間中は寮内には入れない。

第8条 登校後に寮に戻るときは、必ず教員の許可を得ること。

第9条 部外者の立ち入りを厳禁する。

2 寮生であっても女子寮への男子生徒、男子寮への女子生徒の立ち入りを厳禁する。

第 10 条 寮生で生活上問題があった場合は、(本校の)特別指導を受けなければならない。

第 5 章 外泊及び帰省

第 11 条 外泊、帰省等は、舎監に許可を得て、居所届けに必要事項を記入し提出すること。

第 12 条 定められた閉寮日には全員帰省すること。

第 6 章 寮費費用

第 13 条 入寮の際には、入寮費 30,000 円を納入すること。

第 14 条 寮費は年間 558,000 円 (3 年次は 1 月分までの 465,000 円)とする。月割りで1 月当たり 46,500 円を納入するか、5 月と 10 月に半年分の 279,000 円ずつ (3 年次の 10 月は 186,000 円)を納入すること。

2 寮費は、長期にわたる臨時閉寮等の校長が認める特別の理由がない限り、返金を行わない。

第 15 条 寮費の納入日は、授業料・学校納付金等の納入日に準ずる。

第 16 条 寮運営上、赤字が見込まれる場合は、寮費の値上げ又は臨時に寮費を徴収する場合がある。

第 7 章 傷病等への対応

第 17 条 病気及び傷害があった場合は、ただちに舎監に申し出ること。

第 18 条 病気その他の理由で学校を欠席する場合は、必ず寮事務室に連絡すること。

第 8 章 その他

第 19 条 来訪者のある場合は、必ず寮事務室に申し出ること。

第 20 条 寮内における生活上の問題、事故防止等のため、舎監が寮室等を点検することがある。

第 21 条 寮備品、その他貸与品を破損、紛失した場合には、これを弁償するものとする。ただし事情により弁償の減額・免除をすることがある。

附 則

1 この寮則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 14 年 4 月 1 日一部改正する。

3 平成 18 年 4 月 1 日一部改正する。

4 平成 25 年 3 月 1 日一部改正する。

5 平成 26 年 4 月 1 日一部改正する。

6 平成 28 年 4 月 1 日一部改正する。

7 平成 29 年 11 月 29 日一部改正する。

8 令和 5 年 5 月 13 日一部改正する。

9 高校生活入門講座 Q & A

高校生活入門講座の申し込みにあたり、あらかじめ寄せていただいた質問について、下記のとおり回答します。

【入学、教育課程、進路について】

1. 入学試験や要件などについて。推薦入学はありますか。入学するために、今から何か準備できることはありますか？

要件については、別頁をご参考ください。

三重県立学校では、前期選抜、後期選抜、再募集という大きく3つの選抜があります。本校は前期選抜（2月3日検査）で定員80名の100%を募集します。前期選抜で80名の定数に満たなかった場合、再募集（3月21日検査）を行います。推薦入試や後期選抜は実施しません。

作文や個人面接などの対策については、本校の教育内容に対する学習意欲や、高校卒業後の進路希望といった目的意識などを、自分の言葉で表現できるように準備してください。

2. 個別で相談したいのですが。

高校生活入門講座では充分なお時間が用意できません。具体的な相談については、後日に教頭（福田）あてにお電話をお願いします。また、平日にご来校が可能であれば、授業等の様子もご覧いただいたうえで個別の相談をすることができますので、ぜひお越しください。

3. 三重県民の優先枠はありますか。野球部等の希望者が優先されますか？

野球部の希望者が優先されることはありません。

県外からの志願者（保護者が本県に転住しない）志願者のうち、原則として入学定数80名の10%（8名）を入学者の上限としています。

4. 3年間のカリキュラム。いつ頃それぞれの系列に分かれますか？

教育課程（カリキュラム）については、別頁をご参考ください。

系列に分かれるのは2年次からです。1年次で、系列体験や「産業社会と人間」での学びを通して系列を決めます。

5. 卒業後の進路先（就職先等）について。大学進学の場合は指定校推薦などありますか？

過去3年間の進路実績については、別頁をご参考ください。

令和7年度の指定校推薦については、7月時点でのべ77の大学から指定校推薦枠を頂いています。

6. 保証人について話を伺いたいです（県外からの出願に関して）

本校は『保護者の転住を伴わない県外からの入学志願に関する要項』に基づいて、三重県外からの入学志願を受け付けており、保証人については『三重県立高等学校学則の基準に関する規則・第十九条の2』に次のように定められています。

生徒の保護者は、保護者が遠隔地に居住するとき又はその他、特別の事情があるときは、生徒の居住する学区※に居住する成年者であって、生徒の健康、食生活及び日常の生活状況を確認できる者を保証人として定め、保証人届を校長に提出しなければならない。ただし、保護者が他の都道府県に居住するときの保証人届は、三重県教育委員会に提出するものとする。

※本校は「南部学区」で三重県松阪市以南の地域を指します

●保証人について

保証人は、寮生が閉寮日で寮に宿泊できず、保護者宅にも帰宅できないとき、食事や宿所等を提供して頂く方です。また、感染症等で寮に留まらない時などに保護者にお迎えを願いますが、保護者からの要請で保証人にご協力が頂ける場合は、保証人宅での療養でも差し支えありません。

●保証人届について

本校への入学志願にあたっては、保証人と保護者が学校長の面接を受け、『保証人届（副申・押印済み）』を準備して頂いたうえで、志願に係る書類（志願申請書、住民票の写し等）とあわせて三重県教育委員会に提出して頂く必要があります。なお、本校が実施する令和7年度前期選抜（令和7年2月3日予定）は、例年12月中旬～1月中旬に申請期間が設けられます。それまでに、保護者が保証人を確保したうえで、保証人届等の準備を行ってください。

●三重県教育委員会の説明会について

令和6年11月27日または28日に、三重県教育委員会（高校教育課）が「令和7年度 三重県立高等学校入学者選抜 県外からの入学志願者等説明会」を行う予定です。三重県教育委員会のホームページに、説明会の概要については9月頃に掲載され、説明会への参加申込等については11月初め頃に掲載されます。この説明会では、県外からの入学志願に係るすべての説明が行われます。保護者が行うもの、保護者と中学校が行うもの（在籍中学校の先生に保護者の方を通じてお知らせするもの）などがありますので、かならずご確認のうえで、お申し込みください。

●大台町による保証人の相談について

どうしても三重県南部学区に保証人を確保することができない場合、本校を第一志望として入学志願することが確定している時は、本校を通じて大台町に保証人を相談することができます。出願期日までに余裕をもって、本校教頭（福田）あてに相談をして頂きますようお願いいたします。

ただし、大台町の協力を頂いての保証人募集となります。保証人確保のお約束はできないこと、保証人宅に宿泊する場合に宿泊費用（1日5,000円）の負担が求められること、長期休業中の宿泊はできないこと、体調不良時の対応が困難な場合もあること、年内に保証人との面談のため大台町にお越し頂くことなど、いくつかの条件があります。あらかじめご理解頂きますようお願いいたします。